

試験報告書

依頼者 コリアマーケティング株式会社

Kee Utility Inc.

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 PEDIC (ペディック) UV除菌器

表 題 殺菌効果試験

2017 年(平成 29 年)04 月 20 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

コリアマーケティング株式会社
Kee Utility Inc.

2 検体

PEDIC (ペディック) UV除菌器
なお、依頼者からファスナー付バッグの提供を受けた。

3 試験概要

綿布に試験菌液を滴下し、試料とした。ファスナー付バッグ内に試料及び検体を設置後、検体を依頼者指定の条件で作用させ、所定時間後に試料の生菌数を測定した。

4 試験結果

結果を表-1に、試験条件を表-2に示した。

表-1 試料の生菌数測定結果

試験菌	区 分	対 象	生菌数(/個)
大腸菌	作動前	—	5.2×10^5
	作動後	検 体	<10(検出せず)
		対 照	2.1×10^5
緑膿菌	作動前	—	2.1×10^5
	作動後	検 体	<10(検出せず)
		対 照	1.4×10^5
サルモネラ	作動前	—	3.0×10^5
	作動後	検 体	<10(検出せず)
		対 照	5.7×10^5
黄色ブドウ球菌	作動前	—	4.3×10^5
	作動後	検 体	<10(検出せず)
		対 照	1.7×10^5
白癬菌	作動前	—	3.0×10^5
	作動後	検 体	<10(検出せず)
		対 照	3.0×10^5

試料：綿布(約3 cm×3 cm)に試験菌液0.01 mLを滴下したもの

作動条件：検体を依頼者指定の条件で約10分間作動させた。

対照：検体未作動の試料

表-2 試験条件

試験菌液	試験菌	① <i>Escherichia coli</i> NBRC 3972(大腸菌) ② <i>Pseudomonas aeruginosa</i> NBRC 13275(緑膿菌) ③ <i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> NBRC 3313(サルモネラ) ④ <i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i> NBRC 12732 (黄色ブドウ球菌) ⑤ <i>Trichophyton rubrum</i> TIMM 2659(白癬菌)
		試験菌①～④： 試験菌を普通寒天培地[栄研化学株式会社]で35℃±1℃，18～24時間培養した後，精製水(試験菌④は生理食塩水)に浮遊させ，菌数が約10 ⁷ /mLとなるように調製した。 試験菌⑤： 試験菌をPotato Dextrose Agar(Difco)で25℃±1℃，10～14日間培養した後，胞子を0.005%スルホコハク酸ジオクチルナトリウム溶液に浮遊させ，不織布フィルターでろ過後，菌数が約10 ⁷ /mLとなるように調製した。
試料	高压蒸気滅菌(121℃，15分間)した綿布(約3cm×3cm)に試験菌液0.01mLを滴下したもの	
試験操作	ファスナー付バッグ内に試料を設置後，試料の真上約1cmの距離で検体を約10分間作動させた。	
試料の洗い出し条件	0.2%ポリソルベート80(Tween 80)加生理食塩水，10mL	
生菌数測定	試験菌①～④： 標準寒天培地[栄研化学株式会社]，混積平板培養法	35℃±1℃， 2日間培養
	試験菌⑤： ポテトデキストロース寒天培地[栄研化学株式会社]， 混積平板培養法	25℃±1℃， 7日間培養

以 上